

公益財団法人秋田県体育協会 平成26年度事業計画

本会は、県内におけるスポーツの統一組織として、「スポーツ立県あきた」宣言の趣旨を踏まえ、競技力のレベルアップによるスポーツ王国秋田の復活と生涯を通じた豊かなスポーツライフづくりを目指して、加盟競技団体、加盟地域団体、加盟学校体育団体及び関係機関・団体との連携を図りながら、次の各事業を効果的に実施する。

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1 競技スポーツ事業 | 6,714千円 |
| (1) 第65回県民体育大会の開催(41競技) | 4,780千円 |

本会が主催する全県的な総合スポーツ大会(競技会)であり、大会運営経費の助成をし、大会運営は加盟競技団体が行っている。東北総合体育大会や国民体育大会の予選会と位置付けている。

- | | |
|-------------------------|----------|
| 2 スポーツの競技力向上及び普及等に関する事業 | 99,892千円 |
| (1) 競技力向上対策事業 | 65,278千円 |

① 国体・東北総合体育大会派遣

- ア 第41回東北総合体育大会(福島県)[平成26年8月22日~24日]
- イ 第69回国民体育大会本大会(長崎県)[平成26年10月12日~10月22日]
- ウ 第70回国民体育大会スケート・アイスホッケー競技会(群馬県)
[スケート 平成27年1月28日~2月2日]
- エ 第70回国民体育大会スキー競技会(群馬県)[平成27年2月20日~23日]

② 国体の天皇杯順位を上げるための取り組み

平成23年山口国体の天皇杯19位以降、成績が低迷している状況を打破するため、県体協一丸となって、競技団体の選手強化及び指導者確保を促進する。

- ア 天皇杯順位アップを目指す合同会議の開催(理事及び国体競技団体関係者)
- イ 競技団体の練習会・大会等へ赴き、激励
- ウ 競技団体の強化計画ヒアリング・実行支援
- エ 指導者確保の支援

③ 秋田県高等学校強化拠点校制度の推進

全国大会においてトップレベルの活躍が期待できる学校として指定された強化拠点校の選手・チームの育成を目的とする事業で、監督研修会をはじめ各種講習会・講演会を通して、様々な分野から知識を得ながら、競技力の向上(全国ベスト4以上)を目指す。(拠点校数15校、16競技)

- ア 高等学校強化拠点校監督研修会
- イ 高等学校強化拠点校監督ヒアリング

- ウ 競技力向上講習会
- エ 理事による拠点校視察・激励

④ テクニカルアドバイザー等の活用

優れた競技技術を有する選手等をテクニカルアドバイザーとして強化拠点校や強化拠点地区に配置し、部活動指導等にあたり強化を図る。
また、主に小中学生を対象に練習指導や研修等の企画・立案に関わるジュニア育成アドバイザーを配置し、ジュニア世代からの選手育成を行う。

⑤ 秋田県中学生強化選手事業の推進

将来の活躍が有望な中学生選手を指定し、全国規模の大会で上位入賞ができるよう中学校から高等学校まで一貫した指導体制のもと、競技力の向上を図るとともに健全な人格形成を目指す。

- ア 中学生強化選手競技力向上研修
(メディカルチェック、フィジカルトレーニング研修、宿泊研修等)
- イ 競技力向上研修会(指導者含む。②と合同)
- ウ 中高一貫指導による選手強化の推進

⑥ 社会人選手・指導者の確保

経済状況の悪化に伴い、企業スポーツの維持や優秀な人材の県内就職環境などが厳しい状況にあるが、大学を卒業するなどして秋田に帰ってくる選手・指導者の受け皿の確保を目指す。(県、県教委、各自治体、企業等)

- ア 県内就職希望者の調査
- イ 受入企業等の調査

⑦ スポーツ医・科学の活用

- ・スポーツ医・科学委員会のスポーツドクター・トレーナー等によるメディカル及びフィジカル面等の医・科学的サポートを行い、競技力の向上を図る。
- ・アスリート、指導者、保護者を対象にドーピング防止教育・啓発のための講習会・研修会を実施する。

- ア 日体協ドーピング防止活動推進事業
- イ ドーピング防止講習会
- ウ 選手、指導者等に対するスポーツ医・科学の情報提供

(2) 普及啓発・広報事業

5,805千円

- ① 機関誌「スポーツ秋田」(3回 各2,000部)
- ② ホームページによる情報発信(随時)
- ③ 「スポーツ立県あきた」普及啓発
 - ア スポーツ立県推進講演会

(3) スポーツ普及推進事業

2, 535千円

加盟団体（競技団体、地域団体、学校体育団体）が実施するスポーツ事業を支援するために助成等を行い、県民がスポーツに親しむ機会を増やし、スポーツの普及を図る。

(4) スポーツ表彰・顕彰事業

2, 091千円

本県の体育・スポーツの振興に寄与し、その功績が顕著な者に対し、その栄誉を顕彰する。

- ① 秋田県スポーツ賞表彰 [平成27年2月]
- ② 人見スポーツ賞表彰 [平成27年3月]
- ③ 畠沢国体賞表彰 [平成27年3月]
- ④ 辻ジュニアスポーツ大賞表彰 [平成27年3月]

(5) 人見スポーツ傷害基金事業

600千円

本会の加盟団体が主催するスポーツ行事に参加し傷害を受け、あるいは死亡した者に弔慰金を給付するほか、スポーツ障害者に対するカウンセリングや傷害防止対策事業に給付を行う。

- ① 傷害防止対策事業
- ② 死亡弔慰金の給付
- ③ スポーツ障害者に対するカウンセリング

(6) 共同主催及び後援事業

県民の体育・スポーツの技術向上又は普及・振興に寄与すると認められる競技会、研修会、講習会等の各種事業に対して、団体等と共同主催あるいは後援をする。

3 生涯スポーツ振興事業

84, 840千円

(1) 総合型地域スポーツクラブ育成事業

① 総合型新規クラブの設立支援

総合型クラブの新規設立に向けて未育成市町村（旧市町村単位）や中学校区における設立意向調査や現地ヒアリングなどを行う。 ・新規3、継続3（設置済66）

② 秋田県総合型クラブ連絡協議会事業

総合型クラブの定着・発展のため、設立済、創設準備中の総合型クラブ関係者を対象にクラブ運営に関する情報交換や協議、総合型クラブ間の交流事業を行う。

ア 秋田県総合型クラブ連絡協議会運営委員会の開催

[①平成26年4月11日 ②平成26年8月29日 ③平成27年1月30日]

イ 秋田県総合型クラブ総会・研修会の開催 [平成26年4月21日]

ウ 秋田県総合型クラブ地区交流会の開催

[県北：平成26年11月24日 中央：平成26年10月26日 県南：平成26年10月25日]
エ 秋田県総合型クラブ全県交流大会の開催 [平成26年11月15日]

(2) スポーツ指導者養成事業 260千円

① 指導者養成講習会

日本体育協会公認の指導員及び上級指導員の養成講習会を実施する。(公益財団法人日本体育協会からの委託事業(予定))

② 指導者研修会

指導者資格の更新のための研修会を実施する。(公益財団法人日本体育協会からの委託事業(予定))

(3) スポーツ少年団交流大会事業 66,245千円

①-ア 競技別交流大会(平成26年5月~27年3月、8競技)

スポーツ少年団の競技別交流大会を通してフェアプレー精神の涵養と友情を培い、仲間意識と連帯を高め、地域における活動の活性化を図る。

イ 全県交流大会(平成26年8月1日~3日、岩城少年自然の家)

野外活動を中心としたスポーツ活動を行うほか、リーダーとしての自覚やその役割等について学習するとともに諸活動を通じて「健康・規律・奉仕・友情・協力」等を体験させる全県交流大会を開催する。

② リーダー養成(随時開催)

スポーツ少年団の指導者及びリーダーは、安全で魅力ある単位団活動を推進する上で重要な役割を担っている。単にスポーツ実技指導ができるにとどまらず、人格や識見、豊富な知識や能力が求められることから、資質と能力の向上を図るためのリーダー養成事業を実施する。

③ 青少年海外交流事業

海外の青少年及び指導者との相互交流により友好と親善を深め、国際的知識を高めるとともに、両国の青少年スポーツの発展に寄与する。

ア スポーツ少年団日独同時交流事業

[派遣：平成26年8月1日~18日 受入：平成26年8月2日~8月6日]

イ 日韓青少年スポーツ交流事業 平成26年8月16日~22日

[派遣：サッカー、バレーボール]

[受入：サッカー、バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン]

④ スポーツ少年団モデル育成事業(鹿角市、にかほ市、湯沢市)

県内の市町村スポーツ少年団に共通的な事業のモデル実施方式を確立させることを目的に、各市町村指定スポーツ少年団において具体的な企画・立案を行い、事業を実施する。

(4) スポーツ少年団指導者育成事業 9,036千円

① 認定員養成講習会（平成26年5月～11月）

市町村においてスポーツ少年団の育成・指導にあたる「スポーツ少年団認定員」養成講習会を県内7地区で実施する。

② 認定員等再研修会（県北、中央、県南）

指導者の相互研修、情報交換を通して指導者の資質向上と団活動、指導活動のより一層の充実を図るため、県内3地区で年に3～4回開催する。

③ 育成母集団研修会（県北、中央、県南）

地域行事への参加や地域住民を含めたスポーツ交流会や親子スポーツ大会などのプログラムの作成、提供等を図るため、そのための研修会を年3～4回開催する。

④ スポーツ少年団顕彰事業（平成26年4月）

本県のスポーツ少年団の育成・指導に寄与し、その功績が顕著な者に対し、その栄誉を顕彰する。

⑤ スポーツ少年団広報普及事業

ア 広報誌「スポーツ少年秋田」（年2回 各2,800部）

イ「スポーツ少年団の現状」（年1回 1,200部）

4 障害者スポーツ振興事業 ※予算は、生涯スポーツ振興事業に含まれる

- (1) 障害者スポーツ大会への協力
- (2) 障害者スポーツ関係団体との連携強化

5 財政基盤の確立（歳入）

- (1) 賛助会員の募集 900千円
- (2) 寄附金の募集 7,000千円
- (3) スポーツ活動支援事業
 - ① 自動販売機事業 9,070千円
 - ② スパッキーグッズ販売事業 500千円